

出張報告

報告日 令和7年7月7日

会 派 名	柏崎の風
報告者氏名	柄沢 均
種 別	☐ 調査研究（ ☐ 行政視察） ☒ 研修会 ☐ 要請・陳情 ☐ 各種会議
用 務	政策形成能力向上講座受講
日 時	令和7年7月3日 ～ 令和7年7月4日
場 所 （会場）	日本経営協会（東京都渋谷区千駄ヶ谷 5-31-11）
概 要	一般社団法人 日本経営協会 「政策形成能力向上講座」 ～地方創生時代を勝ち抜く政策形成能力の基礎的視点～ - 問題発見の視点 ①政策の定義 ②複眼思考 ③ゼロベース思考 ④数字思考 ⑤政策形成サイクルの意味 - 地方創生実現の事例 ①地方創生の意味 ②地方創生の具体的事例 - 自治体事例発表 「ひたちなか市マーケティング推進室の軌跡」 - 政策情報の収集と活用 ①情報収集の仕方 ②データの捉え方 - 政策フレームワークの紹介 ①仮説検証法 ②問題設定の再確認 ③ロジカルシンキング ④三角ロジック ⑤ギャップアプローチとポジティブアプローチ
所 感 等	政策形成能力とは問題を発見し、その問題を解決するため、一定の政策目標を立て、それを実現するために必要なしくみ・しかけを作り上げる能力。そのとおりだと思う。その政策形成能力の確立・向上には、360度から考える複眼思考が大切。先入観や偏見を捨て疑うことやゼロベースの視点から考える、そして科学的根拠となる数字を把握する考えを確認することができた。また、受講者14名のうち13名は若手の自治体職員だったが、グループワークの時間もあり、その中で情報収集・分析などについて考え方を整理することもできた。 もとより自治体の目的は「住民の福祉の増進を図る」ことにある。その実現の為、問題点をしっかりと捉え、根拠をもとに政策立案に取り組んでいかなければならない。